

**■ 〈本紙アンケート調査〉 2012 年度の壁紙需要先
住宅向け約 1 ポイント増加、住宅向け 63.4%、非住宅用 36.6%
新築 65.3%、リフォーム 34.7%、推計総需要量 672,000 千平米**

本紙は 4 月上旬にブランドメーカー及び二次卸店に 2012 年度の壁紙の需要先を聞くアンケートを行った。その結果、住宅向けが 63.4%で、前回調査に比べ約 1 ポイント増であった。一方、住宅・非住宅を問わず、新築とリフォームの比率を聞いた結果は、新築が 65.3%の 3.8 ポイント増で、新築向け需要が高かったことが分った。また、12 年度の壁紙出荷量 672、000 千・と推計し、需要先別構成比を当てはめると、住宅向けは 426、000 千㎡、新築向けは 438、800 千㎡となった。

アンケートは例年通り、各社が売り上げた壁紙の需要先を住宅向けと非住宅向けに分け、その構成比を聞いた。

また、非住宅向けを・商業建築・学校・病院等・オフィス・その他の 4 項目に分け、非住宅向けを 100とした場合のそれぞれの比率も聞いた。

さらに、その両者を合計した全需要の、新築とリフォームの比率も回答してもらった。

需要先比率は表 1 で見る通り、全回答の平均では、住宅 63.4%、非住宅 36.6%で、ブランドメーカーの住宅の非利率が前年度より 4 ポイント上がっている。

非住宅向けの内訳を表 2 で見ると、商業建築向けが伸び、オフィスが減少している。

表 3 は新築とリフォームの比率だが、前年度と比べ新築が 2 ポイント増、リフォームが 2 ポイント減であったことが分る。

表 4 は、新築とリフォームのそれぞれの需要量を、総出荷量から算出してみたものである。

需要量は日本壁装協会発表をもとに本紙が推定した。

注意)本書を無断で転載することを禁じます。